

科目名	次世代のための環境教育 I 1	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	加藤 直邦
学科・コース	エコイノベーション科4年制	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	ケニア・プロサファリガイド / アフリカ野生生物管理大学 / 青年海外協力隊、環境教育活動						
授業の学習 内容	主にeco検定(環境社会検定試験)テキストを教材とし、一般常識として地球のしくみや、人間の歴史を通じて環境問題を考え、次世代型環境教育ビジネスに活かせる知識や技術を習得する。						
到達目標	地球環境や自然保護についての基礎知識を学ぶ。 動物や自然を通して自分の考えを伝える技術を身につける。 SDG'sや国際条約などの取り組みを理解し具体的に支援していく。 グローバル社会に対応するための社会人育成。						
評価方法と基準	筆記テストにおける理解力チェックと、発表による評価 Teams による「授業おさらいクイズ」など課題の提出 筆記テスト80%、授業の積極的参加態度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		座学	なぜ環境問題を学ぶのか知る	エコ検定試験について調べる
2		座学	環境問題の歴史を知る	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
3		座学	身近な自然について考える	身近な自然を自分で探してみる
4		座学	宇宙のしくみと地球の歴史を知る	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
5		座学	大気にまつわる環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
6		座学	大気にまつわる環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
7		座学	海洋のしくみと環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
8		座学	屋内アクティビティを体験する	Teams による感想レポートの提出
9		座学	水循環と環境問題を学ぶ	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
10		座学	土壌と森林について学ぶ1	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
11		座学	土壌と森林について学ぶ2	エコ検定テキストとTeams による 授業おさらいクイズで復習
12		グループワーク	熱帯雨林について考える	Teams による感想レポートの提出
13		座学	中間テスト前の授業を復習する	エコ検定過去問題集で復習
14		座学	中間テスト	試験範囲の予習と対策
15		座学	テストの振り返りと自己評価する	不正解問題の訂正
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 エコ検定公式テキスト				

科目名	生物分類Ⅰ	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	菅野 宏文	
学科・コース	エコイノベーション科4年制	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	45 1			
教員の略歴	日本蛇族学術研究所・研究員、伊豆アンディランド 学芸員、現在は執筆活動							
授業の学習内容	近年大きく変わりつつある生物分類の体制において、最新の知識を身につける。五界説の動物界または3ドメインセオリーのオビストコンタ界動物亜界の門・綱・目のレベルまでの分類体制を講義において行う。							
到達目標	高校時に履修すべき項目はもちろんのこと、専門学校生として一歩進んだ知識を身につけ、動物園・水族館・企業などの採用試験に対応できる学力を培う。また、生物分類技能検定3級において、動物における設問はすべて解答できる学力を身につける。							
評価方法と基準	出席率	70%以上 2点						
		80%以上 3点						
		90%以上 5点						
		上記の点数を筆記試験に加算する。						
	筆記試験評価	GPA [A 100~90、B 89~80、C 79~70、D 69~60、F 59~0 (不合格)となる。]						
		再試験は公欠が認められた者のみ対応する。						

授業計画・内容			
回数	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習 (学習課題)
1	講義	生物の分類：分類の概念 分類の必要性を理解する。	分類の必要性を考える。
2	講義	現在の分類法：それぞれの分類法の 概念の違いを学ぶ。	身近な生物を数種仲間分け。
3	講義	リンネ式分類学：分類に使用される階級 リンネ式分類の仕組みを理解する。	動物を1種選び門～属までを調べる。
4	講義	種概念と定義：種とは何かを把握する。	雑種が種ではない理由を調べる。
5	講義	国際動物命名規約：学名について その原則を理解する。	動物を1種選び学名を調べる。
6	講義	生物分類の大綱：現在有力視されている 五界説について学ぶ。	生物を5つの界に分けた理由を調べる。
7	講義	3ドメインセオリー：最新の分類の動向を学ぶ。	五界説の矛盾を調べる。
8	講義	生物の体制：分散型と集中型 2つの体制の違いを把握する。	各体制の生物を数種調べる。
9	講義	脊椎動物の通性Ⅰ：脊椎動物の骨格の共通性を学ぶ。	頸椎の数が7つではない哺乳類を調べる。
10	講義	脊椎動物の通性Ⅱ：脊椎動物の呼吸器系 消化器系について学ぶ。	左右対称の呼吸器を持たないものを調べる。
11	講義	脊椎動物の通性Ⅲ：脊椎動物の筋肉、感覚器について学ぶ。	目、耳などの感覚器を持たないものを調べる。
12	講義	大町自然学校実習 (野生)	実習の準備
13	講義	相模湖カヌー実習 (野生)	実習の準備
14	講義・試験	前期試験・ペーパーテスト実施	試験に対する準備を行う。
15	講義	試験解答および全過程の総括	理解しなかった項目を調べる。
準備学習 時間外学習		予めテーマを出題し、当日までに調べるまたは作成する。	
【使用教科書・教材・参考書】 (参考書) 内田亨著 (1965) : 「動物系統分類の基礎」 (株式会社 北隆館) (社) 日本動物園・水族館協会 「飼育ハンドブック・動物園編」Ⅲ			

科目名	恐竜学 I 1	年次	2022年度	担当教員	富田京一
学科・コース	エコイノベーション科4年制	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	肉食爬虫類研究所代表「奥出雲多根自然博物館」「恐竜王国2012」監修				
授業の学習内容	かつて、恐竜と言えば日本の科学界においては異端として、ともすれば蔑ろにされた残念な歴史があります。それは国内で恐竜化石が未発見だった過去の状況からすれば致し方なかったのでしょう。しかし現在では、恐竜化石の発見地は18都道府県におよび、魚竜や翼竜など近縁な大型爬虫類まで含めれば、国内の大半の地域が該当する勢いです。しかも恐竜は滅び去った時代遅れの代物ではなく、鳥類として今なお繁栄を極めていることが証明されています。動物園や水族館、鳥や爬虫両生類を取り扱う小売店など、主として現生物を取り扱う業界においても、恐竜や進化に関する知識の需要も高まっており、こうした時代のニーズに即応すべく、ベーシックな知識や技術の習得を目指します。				
到達目標	恐竜とは何か、他の爬虫類をはじめ鳥類、哺乳類、両生類、昆虫、植物との関係や、地球環境との繋がりを含めて理解する。博物館や恐竜展でよく展示されていたり、図鑑や模型で一般的な知名度の高い恐竜について基本的な解説がこなせるようになる。また、もし高校で地学や生物を履修していない生徒でも、恐竜や古生物、進化に関連した業界に就職した場合に困らないだけの基礎的な知識をつける。				
評価方法と基準	定期試験を基準としますが、出席・授業態度も重視します(定期試験80% 授業内での小テスト・レポート各10%)。				

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	恐竜に関わる様々な仕事	授業の内容について復習(レポート)
2		講義	恐竜の定義と特徴	授業初め、前回の内容について議論
3		講義	様々な恐竜(恐竜の主だった系統)	授業初め、前回の内容について議論
4		講義	校外実習(昭島市郷土資料室を予定)	授業初め、前回の内容について議論
5		講義	恐竜時代史概論(三畳紀～白亜紀)	授業初め、前回の内容について議論
6		講義	恐竜の発掘と組み立て	授業初め、前回の内容について議論
7		講義	世界の様々な発掘現場	授業初め、前回の内容について議論
8		講義	日本の恐竜	授業初め、前回の内容について議論
9		講義	校外実習(あつぎ郷土博物館を予定)	授業初め、前回の内容について議論
10		講義	恐竜の体の仕組み	授業初め、前回の内容について議論
11		講義	恐竜の社会の仕組み	授業初め、前回の内容について議論
12		講義	恐竜時代の爬虫類(首長竜・翼竜等)	授業初め、前回の内容について議論
13		講義	これまで習得した知識や技術の確認	授業初め、前回の内容について議論
14		試験		
15		振り返り	二年次の学習内容に進むためのまとめ	学んだ内容についての復習の指示
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】教科書『恐竜の教科書』ダレン・ナインシュ/ポール・バレット(著) 小林快次/久保田克博/千葉謙太郎(監修・翻訳) 創元社 副読本『そうだったのか! 初耳恐竜学』富田京一(著) 小学館 その他適宜プリント等を用意します。回によってスライドやビデオ等の画像や、生体・骨格標本・液浸標本も使用。				
夏休みに向けてのレポート提出				

科目名	比較解剖学 I	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	2	担当教員	高山清次
学科・コース	エコイノベーション科4年制	授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	麻布大学大学院博士課程修了(獣医学博士)						
授業の学習 内容	脊椎動物の比較解剖学を学ぶことによって、「恐竜」というキーワードの業界で働く上で、必要になると考えられる恐竜の解剖学的なことを、理解することを目的としている。						
到達目標	この科目を受講した学生が、「恐竜」等の化石の各部の構造や働き等を理解した上で、解説やレプリカ作成時等の実践で活用できるようになることを目標としている。						
評価方法と基準	定期試験の結果(80%)に平常点(20%)を加味して評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	比較解剖学概念① 適応、種分化について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
2		講義	比較解剖学概念② 発生、生物進化について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
3		講義	動物の進化の歴史について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
4		講義	外皮：魚類・水生両生類の表皮、四肢動物の表皮等について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
5		講義	魚類から哺乳類までの外皮① 無顎類、軟骨魚類、硬骨魚類について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
6		講義	魚類から哺乳類までの外皮② 両生類、爬虫類、鳥類、ほ乳類について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
7		講義	骨の構造 骨、軟骨等について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
8		講義	脊柱の構造① 椎骨の形態、魚類の脊柱について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
9		講義	脊柱の構造② (四肢動物の椎骨の進化等)について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
10		講義	肋骨の構造① 魚類、両生類について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
11		講義	肋骨の構造② 爬虫類、鳥類、哺乳類等について理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
12		講義	頭蓋の構造① 神経頭蓋について、理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
13		講義	頭蓋の構造② 両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類について理解できる。	テキストの範囲を予習・復習する。
14		試験	講義範囲の評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
15		講義	評価試験返却・解説・まとめ	講義範囲を振り返り、理解を深める。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
学校の図書室にある比較解剖学等の本やインターネットを利用する。				

科目名	恐竜学Ⅱ1	年次	2	担当教員	富田京一
学科・コース	エコイノベーション科4年制	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	肉食爬虫類研究所代表「奥出雲多根自然博物館」「恐竜王国2012」監修				
授業の学習内容	かつて、恐竜と言えば日本の科学界においては異端として、ともすれば蔑ろにされた残念な歴史があります。それは国内で恐竜化石が未発見だった過去の状況からすれば致し方なかったのでしょう。しかし現在では、恐竜化石の発見地は18都道府県におよび、魚竜や翼竜など近縁な大型爬虫類まで含めれば、国内の大半の地域が該当する勢いです。しかも恐竜は滅び去った時代遅れの代物ではなく、鳥類として今なお繁栄を極めていることが証明されています。動物園や水族館、鳥や爬虫両生類を取り扱う小売店など、主として現生生物を取り扱う業界においても、恐竜や進化に関する知識の需要も高まっており、こうした時代のニーズに即応すべく、ベーシックな知識や技術の習得を目指します。				
到達目標	恐竜とは何か、他の爬虫類をはじめ鳥類、哺乳類、両生類、昆虫、植物との関係や、地球環境との繋がりを含めて理解する。博物館や恐竜展でよく展示されていたり、図鑑や模型で一般的な知名度の高い恐竜について基本的な解説がこなせるようになる。また、もし高校で地学や生物を履修していない生徒でも、恐竜や古生物、進化に関連した業界に就職した場合に困らないだけの基礎的な知識をつける。				
評価方法と基準	定期試験を基準としますが、出席・授業態度も重視します(定期試験80% 授業内での小テスト・レポート各10%)。				

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	恐竜の定義と特徴(一年時の復習)	授業の内容について復習(レポート)
2		講義	恐竜解剖学概論Ⅰ(骨格系)その①	授業初め、前回の内容について議論
3		講義	恐竜解剖学概論Ⅰ(骨格系)その②	授業初め、前回の内容について議論
4		講義	校外実習(昭島市郷土資料室を予定)	授業初め、前回の内容について議論
5		講義	恐竜解剖学概論Ⅱ(皮骨と装甲)	授業初め、前回の内容について議論
6		講義	恐竜解剖学概論Ⅲ(筋肉系)	授業初め、前回の内容について議論
7		講義	恐竜解剖学概論Ⅳ(内臓・呼吸器系)	授業初め、前回の内容について議論
8		講義	恐竜解剖学概論Ⅴ(皮膚・羽毛系)	授業初め、前回の内容について議論
9		講義	校外実習(あつぎ郷土博物館を予定)	授業初め、前回の内容について議論
10		講義	恐竜解剖学概論Ⅵ(卵と胚)	授業初め、前回の内容について議論
11		講義	恐竜解剖学概論Ⅶ(脳・感覚系)その①	授業初め、前回の内容について議論
12		講義	恐竜解剖学概論Ⅶ(脳・感覚系)その②	授業初め、前回の内容について議論
13		講義	これまで習得した知識や技術の確認	授業初め、前回の内容について議論
14		試験		
15		振り返り	後期の学習内容に進むためのまとめ	後期に向けた予習(レポート)の指示
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】教科書『恐竜の教科書』タレフ・ナイシユ・ホール・ハレット(著) 小林快次/久保田克博/千葉謙太郎(監修・翻訳) 創元社 副読本『そだったのか! 初耳恐竜学』富田京一(著) 小学館 その他適宜プリント等を用意します。回によってスライドやビデオ夏休みに向けてのレポート提出				

科目名	爬虫類両生類学 I 1	年次	2	担当教員	富田京一
		総時間 (単位)	45 1		
学科・コース	エコイノベーション科4年制				
教員の略歴	肉食爬虫類研究所代表「奥出雲多根自然博物館」「恐竜王国2012」監修				
授業の学習内容	水族館など主として海洋生物を取り扱う業界においても、生態系、生物多様性といった概念の普及に伴って、さまざまな動植物の展示や教育活動が行なわれるようになりました。かつては常に脇役に甘んじていた爬虫類や両生類に対する世間の関心や需要も非常に高まっています。水生生物や愛玩動物を取り扱う問屋、小売店においても、それは同様の傾向にあると考えられます。また、爬虫類・両生類は他の脊椎動物とも生物学上密接なつながりを持っており、たとえば魚類学を学ぶ際にそれを補完するものとして欠くべからざるものです。時代のニーズに即した爬虫類・両生類に関する学問的な知識や飼育技術の習得は、今後ますます求められていくものと予想されるため、それに即応した教育を目指します。				
到達目標	爬虫類・両生類とはいかなる動物か、進化的な背景も含めて理解する。水族館・動物園でよく展示されていたり、一般に流通している種類についてひとつおりの飼育がこなせるようになる。希少であったり、反対に外来生物として環境問題となっている、また国内外のネイチャーツアーなどで観察できる代表的な種類を識別できるようになる。およびまた、もし高校で生物を履修していない生徒でも、爬虫両生類関連の業界に就職した場合に困らないだけの基礎的な知識をつける。				
評価方法と基準	定期試験を基準としますが、出席・授業態度も重視します(定期試験80% 授業内での小テスト・レポート各10%)。				

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	爬虫両生類とは何か(復習)	一年時の内容について復習(レポート)
2		講義	飼育の基本(ケージ・保温・衛生面等)	授業初め、前回の内容について議論
3		講義	水生ガメの高度な飼育法や保全を学ぶ	授業初め、前回の内容について議論
4		講義	校外実習(あきる野市横沢入を予定)	授業初め、前回の内容について議論
5		講義	ウミガメの保全活動と基本的な飼育法	授業初め、前回の内容について議論
6		講義	陸生ガメの高度な飼育法や保全を学ぶ	授業初め、前回の内容について議論
7		講義	爬虫両生類の餌学(栄養素と飼育法)	授業初め、前回の内容について議論
8		講義	トカゲ総論と地上生種の高度な飼育法	授業初め、前回の内容について議論
9		講義	校外実習(厚木市七沢を予定)	授業初め、前回の内容について議論
10		講義	樹上生トカゲの分類と高度な飼育法	授業初め、前回の内容について議論
11		講義	カメレオン・ヤモリ類の高度な飼育法	授業初め、前回の内容について議論
12		講義	オオトカゲ・ドクトカゲの高度な飼育法	授業初め、前回の内容について議論
13		講義	これまで習得した知識や技術の確認	授業初め、前回の内容について議論
14		試験		
15		振り返り	後期の学習内容に進むためのまとめ	後期に向けた予習(レポート)の指示
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 適宜プリント等を用意します。回によってスライドやビデオ等の画像や、生体・骨格標本・液浸標本も使用。				

科目名	博物館概論Ⅰ	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	菅野 宏文	
学科・コース	エコイノベーション科4年制	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	45 1			
教員の略歴	日本蛇族学術研究所・研究員、伊豆アンディランド学芸員、現在は執筆活動							
授業の学習内容	博物館の定義,博物館の歴史と現状、種類、博物館関連法規。 博物館と学芸員(学芸員の役割と活動、学芸員の仕事の概要) 博物館における文化財の保存と活用、博物館教育(特徴と可能性)							
到達目標	将来博物館に就職希望の学生において、博物館に対する理解を深め、学芸員資格取得のための必須科目であるため、資格試験に対応できる学力を培う。また、博物館での仕事を希望しない学生においても、一般人として有効に博物館を利用するための知識を修得する。							
評価方法と基準	出席率	70%以上 2点						
		80%以上 3点						
		90%以上 5点						
		上記の点数を筆記試験に加算する。						
	筆記試験評価	GPA (A 100~90、B 89~80、C 79~70、D 69~60、F 59~0 (不合格) となる。)						
		再試験は公欠が認められた者のみ対応する。						

授業計画・内容				
日数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習 (学習課題)
1	4/20	講義	博物館と博物館学(博物館の定義)	博物館の役割を予め調べておく。
2	4/27	講義	博物館の種類と現状	博物館と言われる施設には何があるか調べておく。
3	5/11	講義	日本における博物館の歴史	国内の動物園水族館の歴史を1件リサーチしておく。
4	5/18	講義	博物館と学芸員(学芸員の役割と活動)	学芸員とはどんな職種か予め調べておく。
5	6/1	講義	博物館の展示の手法(動物園を例に解説)	飼育室のケージが動物愛護法の規定をみたしているか調べる。
6	6/8	講義	博物館の展示の手法II(動物園を例に解説)	動物園で施工されるエンリッチメントを一件予め調べる。
7	6/15	講義	博物館の展示の手法III(動物園を例に解説)	見学時の危険防止対策を予め1つ調べ当日発表する。
8	6/22	講義	博物館展示のメッセージ性(イデオロギーについて)	博物館展示が社会に与える影響を1つあげ調べておく。
9	6/29	講義	博物館展示のメッセージ性(負の遺産の展示)	野生動物の保護失敗例を1つあげ予め調べておく。
10	7/6	講義	文化財の保存と活用(文化財とは)	国宝・重要文化財を1つ調べあげ当日発表できる様にする。
11	7/13	講義	文化財保護法(天然記念物について)	天然記念物を1種あげ授業内で説明できる様調べる。
12	7/20	講義	危険物の展示(特定動物について)	特定動物を1種あげ授業内で説明できる様調べる。
13	8/31	講義	博物館教育について(特徴と可能性)	3つの教育(学校・家庭・社会)を予め調べておく。
14	9/7	試験	前期試験・ペーパーテスト実施	試験に対する準備を行う。
15	9/14	講義	試験解答および全過程の総括	理解しづらかった項目を再考する。
準備学習 時間外学習		予めテーマを出題し、当日までに調べる又は作成する。		
【使用教科書・教材・参考書】 稲村哲也著(2019)「博物館概論」(放送大学教育振興会)				

科目名	博物館展示論 I	必修 選択	必修・選択必修・ 選択等	年次	3	担当教員	岩田光一
学科・コース	エコイノベーション科4年制	授業 形態	講義・演習・実習 等	総時間 (単位)	45 1		
教員の略歴	北里大学獣医畜産学部獣医学科卒 獣医師 学芸員 伊豆シャボテン公園元園長 (公社)日本動物園水族館協会会友 (公社)日本植物園協会名誉会員 (一財)進化生物学研究所客員研究員						
授業の学習 内容	博物館、動物園、水族館、植物園は広義の意味では同じ扱いであることより、幅広い視点で展示というものをみていきたいし、一人一人の考えや意見を聞きながら展示を検討していく						
到達目標	展示の基本を理解した上で創造性あるオリジナルな展示を考えられるようにしていきたい						
評価方法と基準	定期試験を基本100%とするが課題や講義への姿勢も加味する。 筆記試験評価:GPA(S100~90 A89~80 B79~70 C69~60 F59~0) 再試験は公欠が認められた者のみ対応する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月20日	講義	講義の方向性と博物館ってどういった存在なのか	
2	4月27日	講義	博物館、動物園、水族館、植物園の関係	
3	5月11日	講義	展示を皆さんがどう考えているか	
4	5月18日	講義	博物館の展示ならびに展示の分類	
5	6月1日	講義	博物館を構想することとコンセプトとその具 体化	
6	6月8日	講義	集客と展示	
7	6月15日	講義	現地調査と展示の具現化	
8	6月22日	講義	よりよい展示をめざして	
9	6月29日	講義	特別展(企画展)の構想と具現化	
10	7月6日	講義	常設展示と特別展示(企画展示)	
11	7月13日	講義	博物館のリニューアル	
12	7月20日	講義	国立、地方、私立の博物館	
13	8月31日	講義	前期まとめと復習	
14	9月7日	試験		
15	9月14日	講義	試験解説	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
博物館展示論(稲村哲也) 集客力を高める博物館展示論普及版(青木 豊) 博物館ハンドブック(加藤有次 椎名仙卓 編)				

科目名	コンピュータⅢ 1	必修 選択	必修	年次	3	担当教員 高梨 優
学科・コース	エコイノベーション科 4年制	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	45 1	
教員の略歴	子供向け雑誌の商品企画、原価計算、在庫管理、オリジナル商品の企画、デザイン、制作、販売、印刷物関係などを行ってまいりました。					
授業の学習 内容	デザインに特化したAdobeイラストレーターの基礎を学ぶ。 イラストレーターを使用し、ポスター・紹介パネル・DMカード・入場券など掲示物や配布物の作成方法を学ぶ。 展示物の説明や配布物などの見やすいレイアウトを学ぶ。					
到達目標	デザイナーが使用するトンボやドブ、カットの仕方など専門的な基礎知識を学び、イラストレーターを使用してポスター・紹介パネル・DMカード・入場券などの掲示物や配布物を作成することができる。 恐竜やレプタイルズの説明や展示の宣伝を文章だけでなく、イラストや写真を使いながら分かりやすく楽しく伝え、興味を惹く掲示物や配布物を作成することができる。					
評価方法と基準	各課題において【提出データ：45点満点】【提出作品：45点満点】【締め切り：10点満点】合計100点とし、学期中の課題点数の平均点を成績とします。 【提出データ】文字のアウトライン化・画像の埋め込み・トンボやドブの有無・データ不具合の有無 【提出作品】汚れなどがなく綺麗に制作できているか・寸法のズレがないか・デザイン上の不具合がないか 【締め切り】提出期日までにデータと制作作品が提出できたか					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	A/19	講義・演習	矩形を使ってイラストを描いてみよう！	イラストレーターの設定や矩形の使い方の復習
2	A/26	講義・演習	矩形と色々なツールでイラストを描いてみよう！	色々なツールの使い方の復習
3	M/10	講義・演習	ペンツールでイラストをトレースしてみよう！	ペンツールの使い方の復習
4	M/17	講義・演習	マスク・整列・文字の装飾のオペレーション	マスク・整列・文字装飾の復習
5	M/31	講義・演習	模様作成（ストライプ・チェック・ドット・格子）	模様作成手順の復習
6	J/7	講義・演習	恐竜の紹介パネルを見本通り作ってみよう！	パネル作成の基本（トンボ・ドブ・配置）の復習
7	J/14	講義・演習	生物の紹介パネルを作ってみよう！①レイアウト	パネルに記載する内容をまとめる
8	J/21	講義・演習	生物の紹介パネルを作ってみよう！②レイアウト	パネルのレイアウトの構想
9	J/28	講義・演習・提出	生物の紹介パネルを作ってみよう！③パネル実作	パネルの作り方の復習
10	J/5	講義・演習	マスキングテープを作ってみよう！①テーマ決め	サイズ・テーマの構想
11	J/12	講義・演習	マスキングテープを作ってみよう！②レイアウト決め	レイアウトの構想を固める
12	A/30	講義・演習	マスキングテープを作ってみよう！③デザイン作成	デザインの見直し・作成
13	S/6	講義・演習	マスキングテープを作ってみよう！④デザイン作成	デザインの見直し・作成
14	S/13	講義・演習	マスキングテープを作ってみよう！⑤デザイン作成	デザインの見直し・作成
15	S/20	講義・演習・提出	マスキングテープを作ってみよう！⑥入稿データ	デザインを完成に近づける
準備学習 時間外学習		授業時間では足りないアイデア出しやビジュアル作成などを主に学習課題とします。		
【使用教科書・教材・参考書】				
特に無し				